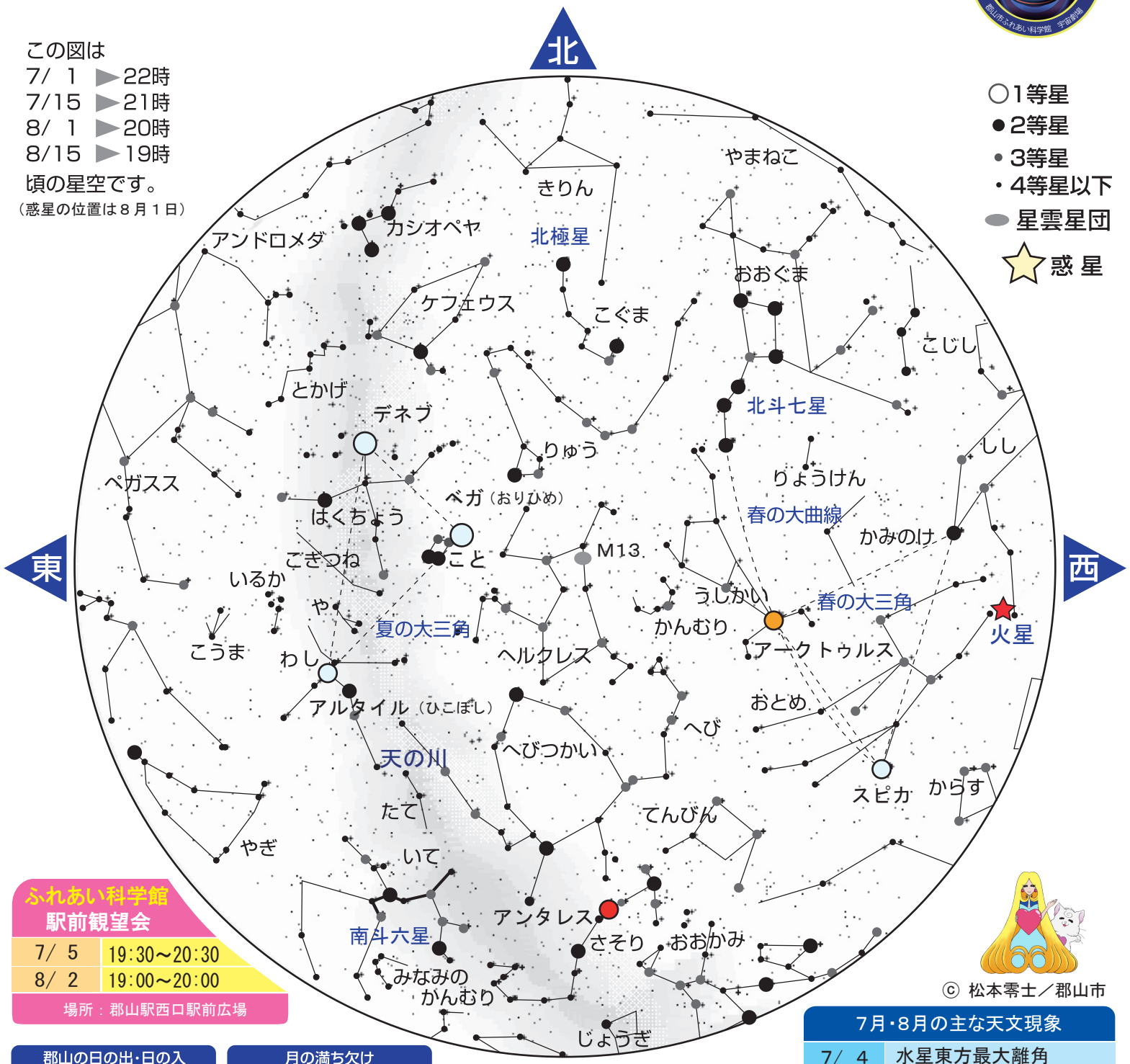
2025年 7月▶8月の星空

この図は
7/ 1 ▶22時
7/15 ▶21時
8/ 1 ▶20時
8/15 ▶19時
頃の星空です。
（惑星の位置は８月１日）



© 松本零士／郡山市

ふれあい科学館 駅前観望会

7/ 5	19:30～20:30
8/ 2	19:00～20:00

場所：郡山駅西口駅前広場

郡山の日の出・日の入

7/ 1	4:18	19:07
7/15	4:26	19:02
8/ 1	4:40	18:50
8/15	4:52	18:34

月の満ち欠け

新 月	7/25，8/23
上 弦	7/3，8/1，8/31
満 月	7/11，8/9
下 弦	7/18，8/16

※上弦、下弦は半月です。

星図ダウンロードはこちらから

7月・8月の主な天文現象

7/ 4	水星東方最大離角
7/ 7	七夕
8/13	ペルセウス座流星群極大
8/29	伝統的七夕（旧暦の七夕）

６月21日に夏至を迎え、日の長い時期が続きます。太陽が沈み、空が暗くなってくると、少しずつ１等星の輝きが見えてきます。東の空から昇る夏の大三角を探してみましょう。こと座の「ベガ」、わし座の「アルタイル」、はくちょう座の「デネブ」を結ぶ三角形です。ベガは織姫星、アルタイルは彦星で、ベガは地球から25光年（１光年＝光の速さで１年かかる距離）、アルタイルは17光年の距離に輝きます。夜空に輝く星はそれぞれ地球からの距離が異なります。星空を眺めながら宇宙の奥行きも感じてみてください。

また、七夕の時期は日本のほとんどの地域は梅雨が明けておらず、お天気に恵まれないことが多いです。では「伝統的七夕」のころはいかがでしょうか。伝統的七夕とは旧暦の七夕の日を指し、毎年日付は変わります。今年は８月29日です。その頃は梅雨が明け、宵空では夏の大三角は空高く昇っています。街中から離れ、空の暗い場所で星空観察を楽しむ際は織姫星と彦星の間に流れる天の川も探してみてください。夏休みを利用してじっくり星空を眺めるのもよいでしょう。８月13日にピークを迎えるペルセウス座流星群は、今年は月明かりの影響を受けてしまいます。見られる数は少なくなりますが、明るい流れ星に期待しましょう。

高柳電設工業 スペースパーク SPACE PARK